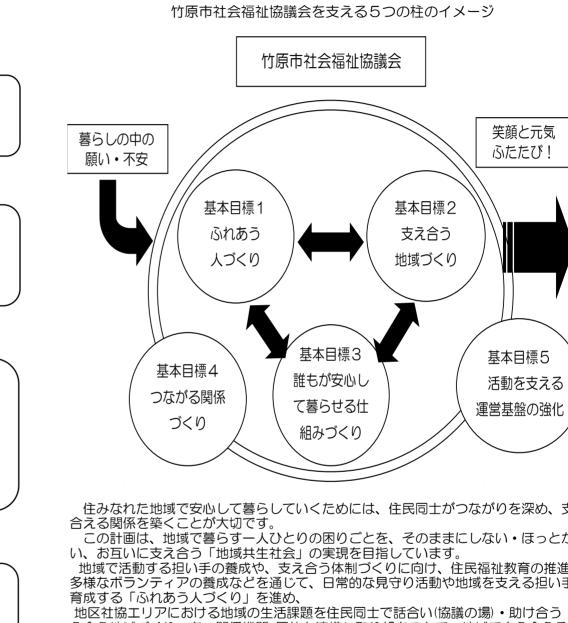
「新あったか福祉eーまちプラン」~第4次竹原市社会福祉協議会地域福祉活動計画2023~【概要版】

③適正かつ効果的な財源の活用

④あらゆる世代に届く情報発信

【スローガン】やっぱりええね地域の輪 ご近所・町内・竹原市 【計画の期間】 令和5年度(2023年度)~令和9年度(2027年度)

計画の5つの柱の関連性



住みなれた地域で安心して暮らしていくためには、住民同士がつながりを深め、支え

この計画は、地域で暮らす一人ひとりの困りごとを、そのままにしない・ほっとかな

地域で活動する担い手の養成や、支え合う体制づくりに向け、住民福祉教育の推進や 多様なボランティアの養成などを通じて、日常的な見守り活動や地域を支える担い手を

地区社協工リアにおける地域の生活課題を住民同士で話合い(協議の場)・助け合う「支 え合う地域づくり」を、関係機関·団体と連携し取り組むことで、地域で支え合える活 動に発展し、地域の生活課題の解決につながります。

また、相談者の属性(高齢者・障害者・子供・生活困窮)や世代、相談内容に関わらず、包 括的に相談を受け止める包括的な相談体制を整備し、生活支援活動の充実や権利擁護事 業の推進等に取り組み「誰もが安心して暮らせる仕組みづくり」を推進することで、誰 もが安心して暮らせる地域につながります。

さらに、ぬくもりを感じる地域の輪をご近所から町内へ、そして竹原市全体へ広げて 行く為には、多機関協働事業の推進や各種委員会・協議会等へ参画し、地域住民と関係 機関や専門職が一体となって課題解決を目指し、地域共生社会の実現に向けて取り組む 「つながる関係づくり」がなければなりません。

そして、これらの活動を推進して行く為には、安定した財政基盤の確保や組織体制の 強化、効果的な財源の活用等、活動を支える運営基盤の強化が重要となります。それぞ れの柱の関連性を大切にし、基本目標が達成できるよう、活動項目を実行していきま

【基本目標】 【活動項目】 【推進項目】 ①住民福祉教育の推進 基本目標1 地域を支える担い手 ②ボランティアセンターの充実 ふれあう人づくり の育成 ③生活支援活動者の養成 交流の場づくりと暮 基本日標2 ①ふれあいサロン活動の推進 らしの気がかりを助 ②地域で支え合う活動の推進 支え合う地域づくり け合える活動の推進 ①相談体制の充実 基本目標3 地域では解決が難し ②権利擁護事業の推進 誰もが安心して暮ら い困りごとを支える ③生活困窮者支援の推進 ④高齢者支援の推進 活動の推進 せる仕組みづくり ⑤障害者支援の推進 ⑥生活支援活動の推進 多様な人や組織の 基本目標4 ネットワークづくり ①関係機関との連携強化 つながる関係づくり の推進 ①法人運営及び組織体制の強化 基本目標5 地域共生社会の実現 ②安定した財政基盤の確保 活動を支える運営基 に向けた社協の基盤

強化

盤の強化